



四小だより

令和 3年 1月 6日
府中市立府中第四小学校
校長 安原 一朗
No. 13



思いやりのある言葉があふれる学校に



校長 安原 一朗

新年明けまして、おめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変お世話になりました。今年もどうぞよろしく願い申し上げます。この一年が皆様にとって、良い年になることを心よりお祈り申し上げます。

学校に、また子供たちの明るい笑顔や歓声が戻ってきました。冬休み中に大きな事故等がなく、子供たちが元気に集まって、3学期の始業式を迎えることができ、とても嬉しく思います。新型コロナウイルス感染症対策も緩めないで対応してまいります。去年は、休み時間などに、子供たちのけがが多かったように思います。タクシー等で病院に連れて行くけがが十数件ありました。かわいい子供たちが、学校で元気に楽しくそして安全に生活できるよう努めていきたいと思っております。

さて、3学期の始業式で、子供たちに「言葉の力」の話をしました。良い言葉で話すと良いことが起こり、悪い言葉を使うと悪いことが起こるという内容です。脳科学的な見地からお話しました。

人の悪口を言ったり、「きもい」「うざい」「死ね」などの乱暴な言葉や汚い言葉を使っている時、その人の顔は怒って見えたり、厳しい表情をしています。そのような人の近くにいると、とても嫌な気持ちになったり、不安になったりして、だんだんとその人から離れていってしまいます。そして、脳からは、「ノルアドレナリン」という悪い物質が出てきます。それは病気になりやすくなり、脳を傷つけたりするそうです。

それとは反対に、友達に優しく、思いやりのある言葉をかけていると、いつの間にか周りに人が集まり、笑顔で楽しい生活を送ることが出来ます。そして、脳からは、「エンドルフィン」という良い物質が出てきます。それは病気を治し、元気で健康な体にしてくれるのだそうです。

私たちが、普段、何気なく使っている言葉が、「人の心を優しくし、元気にする言葉」なのか、それとも「人を傷つけ、元気を失わせ、嫌な気持ちにさせる言葉」なのかを考えて見たいですね。

人に優しく、思いやりのある言葉、美しい言葉が溢れる府中第四小学校にしたいと思っております。ご家庭でも、子供たちに優しく思いやりのある言葉を、いっぱいかけてあげてください。しかしながら、甘やかすのは別です。日本の脳研究の中心である理化学研究所がもう10年も前に次のようなプレス発表をしています。「脳の発達には抑制性の刺激が不可欠であることを発見～脳も甘やかすと発達しない～」。子供たちを真っすぐ育てましょう。今年もよろしくお願いいたします。

1月の行事予定の変更について

都の緊急事態行動を受けての対応により、1月の多磨っ子グループ活動、クラブ活動、委員会活動及び3～5年の社会科見学は中止（給食あり）し、2月以降に延期する予定です。

1月16日（土）から1月29日（金）まで校内書き初め展を行います。本年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響を鑑みて公開はありません。後日改めて学校だより等でお知らせいたします。

12月の多磨っ子 ～多磨っ子たちの様々な場面での活動を紹介します。～

セカンドスクール代替行事

5年 高尾の森わくわくピレツジ 12月11日(金)



セカンドスクールで行う予定だった、「カレーライス作り」をしてきました。今年度はコロナの影響で、家庭科での調理実習はできなかったのですが、指導員の方々に教えてもらいながら、上手に野菜を切ったり、お米を研いだりすることができました。薪を割って火をつける体験もしました。なたを初めて使った子供も多かったと思いますが、まっすぐ割ろうと頑張っていました。でき上がったカレーの味を聞くと「今まで食べた中で一番おいしい!」「最高!」という声がたくさん聞かれ、普段給食でおかわりをしない子供も、ガッツリとおかわりをしていました。自分たちで作ったものは、ひとしおなのでしょう。食べているときの笑顔がとてもほほえましかったです。



多磨っ子フェスティバル 12月23日(水)

午前の3時間を使って、子供たちが毎年楽しみにしている「多磨っ子フェスティバル」が開催されました。今年は、密にならないことを一番に心がけ計画しました。子供たちが分散できるように1年生もお店を出したり、4年生以上は2件以上お店を出したりなどの工夫をしました。また、各部屋に消毒液を2つ用意し、入口と出口で消毒係を配置し、消毒を徹底しました。

いろいろな規制のある中でしたが、どの学級も様々なアイデアを出し、子供たちが一生懸命考えたことがよく伝わるお店ばかりでした。

こうした活動の中、準備と本番を通して、学級の連帯感が生まれてきます。「協力することのよさ」を、一人一人が何らかの形でつかんでいることを願います。

